

令和7年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：政治史・政治思想

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計3ページで6問ある。

1. 政治思想史
2. 政治史
3. 日本政治外交史

6問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 政治史・政治思想 出題分野名 政治思想史

問題1 政治において権力と暴力はどのように区別されるのか、また、そのように両者を区別する（べき）理由とは何か、について論述しなさい。あなたの見解を交えて自由に論述してかまわないが、かならず複数の思想家・理論家に論及して、できるだけ多角的に論じること。

問題2 功利主義（utilitarianism）とはどのような考え方か、また、功利主義に対してこれまでどのような批判が浴びせられてきたかについて説明したうえで、功利主義に対するあなたの見解を述べなさい。自由に論述してかまわないが、かならず複数の思想家・理論家に論及して、できるだけ多角的に論じること。

科目名 政治史・政治思想 出題分野名 政治史

問題 1 産業革命が、ヨーロッパの国民国家形成に及ぼした政治的・社会的影響について、具体的事例をあげて論じなさい。

問題 2 20 世紀前半のヨーロッパ諸国にあらわれた、全体主義と評される政治体制について、具体的な歴史的事実をあげて比較して論じなさい。

科目名 政治史・政治思想 出題分野名 日本政治外交史

問題1 護憲三派内閣の成立経緯と実績について説明した上で、同内閣の政党政治発展史上における意義について考察しなさい。

問題2 冷戦後、自衛隊の海外派遣がどのように開始され、定着していったかを、根拠となる法的枠組みに留意しつつ、説明しなさい。